

第138回免疫系発生学特別講義

小安 重夫 博士

慶應義塾大学医学部
微生物学・免疫学教授

感染免疫研究の醍醐味

2012年9月27日 木曜日

17:00 - 18:30

疾患プロテオゲノム研究センター
1F 交流ホール

小安博士は、T細胞の分化・活性化・機能を担う分子機構解明を推進してこられた成果を基盤に、感染免疫研究を標榜してダイナミックな免疫系の機能解明と免疫関連疾患の制御に向けた研究を先導しておられます。また、理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センターの副センター長をはじめ、文部科学省や日本学術振興会などでの種々のお立場を通して、免疫学はもとより本邦の学術研究を牽引しておられます。小安教授を招いての特別講義に多数のご来聴をお待ちしております。なお、この特別講義は大学院医科学教育部特別講義を兼ねます。

Cell Rep. 1:360-373, 2012.
Adv Immunol. 108:21-44, 2010.

Immunity. 36:317-319, 2012.
Nature. 463:540-544, 2010.

J Clin Invest. 121:3677-3688, 2011.
Nat Immunol. 11:187-189, 2010.

問合先: 疾患プロテオゲノム研究センター生命システム形成分野/大学院医科学教育部免疫系発生学
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)